

# 新・群馬県文化振興指針 ～アートで、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造～

## 目指す未来～20年先のあなたのサステナブルな幸せな暮らし～

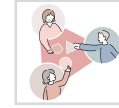
年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての県民誰もがどこでも気軽に芸術文化を楽しめ、県民自ら創造、発信することができる、幸福を実感できる暮らし



自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、創造が価値を生む「**始動人**」が活躍する社会



芸術文化の力で、県民に喜び、感動、発見、つながる群馬らしさとボーダレスな「**多様性**」を尊重する社会



新しい価値を生み出すイノベーションを発揮できる企業が、デジタルやアートで、新たな「**地域経済**」を牽引する社会



アートの力で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける求心力を持つ、「**快疎**」な群馬県を実現

## 課題

人口減少、少子高齢化、グローバル化、デジタル化の進展、地球温暖化、新型コロナウイルスの感染拡大など劇的に変わる社会の中で、様々な価値観が生まれ、「**ニューノーマル**」への転換が必要となっている。

### ●担い手の不足

多くの地域の伝統文化団体が人材不足（構成員の高齢化、新規加入者の減少）の問題に直面しています。少子高齢化や余暇活動の選択肢増加により、従来の活動や周知方法のままでは、次世代への継承が難しい状況です。

### ●世代間・地域間の格差

デジタル化の進展に伴い、情報収集ツールの違いによる世代間での情報格差が大きくなっています。また、外国の方など様々な文化的背景を持った人の考えが反映されにくい現状があります。

### ●経済観念の相違

文化活動団体の担い手減少から活動費が縮小し、活動の継続が危ぶまれる団体も出てきています。長期的に活動を続けていくためにも、コスト意識の導入が必要となっています。

## 基本理念

### 誰もがクリエイティブに オリジナルな生き方ができる「ぐんまスタイル」の創造

デジタルデバイスの普及に伴い、世界中から情報を集めることが出来るようになった今、自由な創造や活動に携わったり、興味のある展示や舞台を鑑賞したり…

県民の皆さんが、「**クリエイティブ**」に、自分の可能性を広げていける環境を整えていきます。

また、多様な文化にふれることは、自分らしさの追求と「**オリジナル**」な生き方につながります。20年後の未来に向けて、様々な価値観を認め、誰もが芸術文化を通して、自ら思い描く、自分らしい生き方ができる「**ぐんまスタイル**」を実現するため、文化施策を展開します。

## 計画期間

10年間(2023～2032年度) 文化施策を中長期的な視点で推進します。

## 実施方法

### SDGs・DX展開・官民共創の視点で取組

新・群馬県総合計画が見据える20年後の群馬県を前提に、文化によって「サステナブルな幸せな暮らし」が実現できるよう、バックキャスト思考で取り組んでいきます。

### 群馬パーセントフォーアート

県予算の一定割合をアート振興へ充てるとともに、県民等が主体的にアートに携わり、新たな価値を創造していく仕組みを制度化します。



## 政策目標

### 文化を担う人づくり

世界を舞台に活躍できる人材、専門的な技術を有する人材、地域の伝統文化を守る人材、そして群馬の未来を託す子どもたちなど、次代の文化を担う人材の育成に取り組みます。

#### ▶クリエイターの創出・支援

アーティストの制作活動支援／tsukurunでのデジタル技術による創作活動機会の提供  
／マンガ・アニメ・デジタルクリエイター支援

#### ▶地域の文化を支える人材の育成

気軽な伝統文化体験による担い手の発掘／子どもや若者に良質な芸術文化に触れる機会の充実  
／アーティストと県民・企業・文化団体を結ぶコーディネーターの育成

#### ▶カルチャー×クリエイティブ

企画から制作まで、県内各地における文化活動の発表・鑑賞機会の提供／世界を魅了するアートシーンの創造  
／芸術文化の敷居を低くした展示・舞台の提供／マネジメント能力の向上支援

### ボーダレスな地域創造

国境、世代、地域などの垣根を超えた(ボーダレス)、文化による地域の創造に取り組みます。世界に誇る文化資産を中心に、自然・風土・文化を活かした世界観を作り“ものがたり”で価値化します。

#### ▶群馬と世界の物語の発信

富岡製糸場など世界に影響を与えた群馬の文化資産の発信／ONSEN(温泉)文化の価値発信

#### ▶文化×創造拠点としての機能強化

文化施設の専門性を活かした地域づくり／芸術文化のハブ機能の強化／文化施設を拠点とした周遊観光の促進  
／デジタルミュージアム構想

#### ▶多文化×世代×他地域×障害者との共生

担い手と伝統文化団体とのマッチング／アートを通じた障害者支援・国際交流の促進

### 新たな価値の創出

地域の文化資源と先端技術やアートをかけあわせ、観光振興や新産業創出につなげるとともに、新たな需要や高い付加価値を生み出し、質の高いサステナブルな経済活動の実現に取り組みます。

#### ▶文化への戦略的な投資

群馬交響楽団「日本一の地方オケ」への支援／サステナブルな芸術文化活動へのスタートアップ支援

#### ▶アート×地域×経済

アートによる地域資源の魅力向上／NETSUGENでの官民共創アートプロジェクト支援  
／アートの循環システム(エコシステム)の構築

#### ▶文化的土壌×デジタル技術×始動人

NFT等のデジタル技術活用の研究／地域の文化資源を活かしたものづくり・ものうり支援  
／デジタルテクノロジーを活用したアート支援

## 資料1:別添

## 提出された意見の概要及び意見に対する考え方一覧

| No. | 該当箇所 | 意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 意見に対する考え方                                                                                                                                                                                                  |
|-----|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 実施方法 | 芸術文化の公共性に着目し、その発展・保護へ制度化を進めるという視点はとても素晴らしいと思います。多くの地方自治体がこうした非認知領域の醸成に乗り出す中、県予算を一定割合アートへ充てる仕組みの制度化には賛成です。事実、芸術・文化は「命の次に何が大切なのか」という問いを立てたときに、その多様性が担保され、お互いがそれを認め合うことで社会の維持に貢献できるのだと長く考えてきました。                                                                                                                                                                                                                   | 次期群馬県文化振興指針では、新・群馬県総合計画が目指す「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が幸福を実感できる暮らし」を実現するため、様々な文化施策を実施します。多様な文化に触れることで、自分の可能性を広げ、オリジナルな生き方につながる環境を整えていくにあたり、各分野の文化を担う方々の知見や実績が、次の世代につながる機会を創出するなど、人づくりに関する施策を検討し、進めて参ります。 |
| 2   | 政策目標 | 政策目標に「人づくり」「地域創造」「新たな価値の創出」が併記して盛り込まれていることも良いですね。欧州では各都市に政治から独立した公共劇場があり、芸術監督を中心とした「問われるべき価値ある作品」づくりが文化としても制度としても根付いています。そこではむしろ市場原理には乗らないが、それによって対話を生む、ことが期待される作品を生み出すことが命題になっています。そのため学校教育に演劇などアートを介したコミュニケーション教育がカリキュラムとして組み込まれています。群馬県においても青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラムの修了者や、兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長で世界的劇作家の平田オリザによる演劇ワークショップを学んだ人材が複数おります。そうした知見と経験を是非、この施策に生かしていただけたらと希望します。そして、それを実現する「場」としての「公共劇場」が誕生することを期待します。 |                                                                                                                                                                                                            |
| 3   | 政策目標 | 少子高齢化である日本において、今後アートの担い手となっていく子どもを育てていくのも大事であるが、人生100年時代の今、大人や高齢者の人生も先は長いのでアートの担い手として育てていくことで子どもへと繋いでいけると思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 次期群馬県文化振興指針では、名前のつかない少数派も含む、すべての県民の方が自分の可能性を広げ、オリジナルな生き方が出来ることを目指しています。また、担い手としてご活躍いただく機会は勿論のこと、その文化を享受出来る環境も同様に整えていくことで、様々な状況の方が文化・アートにアクセスするための文化施策を進めて参ります。                                             |
| 4   | 政策目標 | 障害者とアートに関わることはもちろん大事であるが、子ども、高齢者、日本に住む外国人などの普通の人、病気があって外に出られない人などの名前のつかない少数派のような人も、全部含めての多様性であってほしい。全ての人がアートにアクセスできる目標をかかげてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                            |
| 5   | 政策目標 | 群馬には素晴らしい文化がたくさんある。上毛かるた、群馬交響楽団(地方オケ日本一)、富岡製糸場(世界遺産)、草津温泉(日本一)などもっと大々的に広め、文化で群馬の魅力度をあげるべき。アートによる地域資源の魅力向上も真剣に考え、芸術家にもっと投資をし、より群馬の魅力向上を真剣に考えるべき。障害者支援、国際交流をより強化し、促進すべき。群馬には外国人(太田、伊勢崎等)多く土壌があります。                                                                                                                                                                                                                | 次期群馬県文化振興指針では、ボーダレスな視点で地域資源を捉えて発信することで、群馬固有の文化の魅力を高めていきます。また、アートならではの、多様な個性や背景を生かした交流や地域の魅力創出を積極的に進めて参ります。                                                                                                 |